

# 1

# 川や海・沼の汚れは、生活排水が主な原因

河川などの水の汚れの原因は、主に家庭から排出される生活排水といわれています。下水道や合併浄化槽が普及していない家庭からは、台所やお風呂、洗濯排水などが処理されず、そのまま身近な水路や川に流れ、水の汚れの大きな原因となっています。

## ● もし、これだけの汚れのもとを流すと

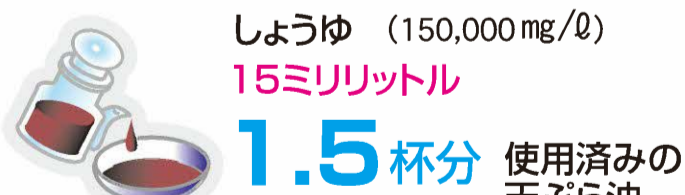
魚が棲めるきれいな水に戻すために大量の水が必要になります。コップ1杯の牛乳でも川に流すと、魚が棲めるような水に戻すには、浴槽10杯分もの水が必要です。(浴槽1杯300リットルの場合)

### 湖沼や河川・東京湾の汚れは、未処理の生活排水がおもな原因です。

私たちが、日頃何気なく流してしまっている米のとぎ汁やラーメンの残り汁などが、河川や湖沼、海の水を汚してしまっているのです。

### もし、これだけの汚れのもとを家庭から流すと…!

魚がすめる水質にするために必要な水の量は浴槽何杯分?



\*1 ( )内は汚れの程度を表すBOD(単位はmg/ℓ)

赤の数字は捨てる汚れのものと量

\*2 魚がすめる水質BOD5mg/ℓ程度

# 2

# 合併処理浄化槽で生活排水がこんなにきれいに

合併処理浄化槽を設置した場合は、単独処理浄化槽に比べ、水路や川などに放流される汚れの量は8分の1。

合併処理浄化槽を設置することで、トイレの排水とともに台所や風呂などからの排水がすべて処理され、公共下水道並みの放流水質となります。

既設の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換し、川や海・沼の水環境の保全に貢献しましょう。

(平成13年4月以降、単独処理浄化槽の新たな設置はできなくなりました)



# 3

# 浄化槽は微生物の働きで水の汚れを浄化しています

浄化槽に流れ込む汚れの大部分は動物や植物の一部や私たちの排泄物。

浄化槽の中では、微生物がその汚れを食べて分解し、水をきれいにしてくれます。

浄化槽はその微生物たちが生きいきと活動できるようにつくられた排水処理の装置です。

## ● 合併処理浄化槽のしくみ

